

映像資料番号183

採録者:古賀淳子

校正:林佳欣

ナレーションと父親、母親セリフは同じ

visual	scece	shot	subtitle	object	audio	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞	
1	1			映画会社のマーク?			○	□□□□
	2	提供 株式会社岩松洋行					○	□□□□【こゆい?】
	3	明け行く 純愛の一夜					○	こそは□□
	4	録音 日本合同映画社					○	
	5	配役 父……生方賢一郎 母……天草浪子 その子……生方 勇 弟……豊田武光 妹……水鳥せき子 訓導……田辺若里					○	□□□一度恩愛の
	6	筑前琵琶演奏 英法山 戸川旭巴					○	篤き涙の落つる時
2	1			薄暗闇に立つ電車の信号機。点灯している電灯2, 3			○	ほのほのあかる
	2			並行する線路2本、その途中にある転轍機			○	る～…
	3			川の水面、川の上を走る鉄橋。曇った空の切れ間から太陽が覗			○	朝の空
	4			中央にドラム缶を大きくしたようなタンク。周りには煙を上げる無数の煙突。画面左下には川が流れ、岸に3隻ほど小船が泊まってい			○	
3	1			バケツに水が溜まっていく。蛇口から出る勢いの強い水。水が溢れそうになるのを急いで止める手。			○/鳥のさえずり	
	2			台所の風景。左側に蓋を乗せた鍋。その蓋の上ののっているおたま。その隣に釜。奥では、ご飯の準備をする女性。奥から帽子を被った男性が登場。女性から【手ぬぐい?】を取ってその場に座り込み、靴を開け、何かを探す。家の外を通る売り歩き民家の裏路地風景。両脇に家屋。道の中央に電柱が並ぶ。			○/鳥のさえずり	
4	1						○	
5	1			土間で靴を磨いている学生服を着たまさお(兄)。奥の障子から出てきて靴を履く、制服を父親。傍らに何かを携えている。後ろには、父親を見送ると母親、妹、弟		父親: □□どうした、靴を磨けたか。やあやあ、ありがとう、ありがとう。じゃ、行ってくるよ。 まさお: いってらっしゃい。		
	2			荷物をわきに抱え家を出る父親。玄関の戸口で靴を磨きながら、父親を見送るまさお、部屋の中から見送る母、妹、弟		父親: まさお、学校の勉強はお前、力いっぱいだぞ。忘れちゃいかん。お天気は大丈夫かな。 まさお: いってらっしゃい。		
6	1			道を歩く途中で学生とすれ違い、挨拶を交わす父親。父親を指差しながら奥へ歩いていくランドセルを背負った学生1人。挨拶を交わし終わると再び歩き始める父親		父親: やあ、おはよう。まさおが待っているから早く行ってやってくれ。学校の勉強は力いっぱいだぞ。 学生: またおじさんの癖が始まった。おかしいな 父親: いや、さようなら	○	
7	1			看板「口気軌道/会社/電車」。奥の建物の中に次々と入っていく制服を着た男性達				
	2			走り始める電車	妻と、そして3人の子供を背負いながら、		○/カッコウの鳴き	
	3			奥のホームに電車が入る。	この浮世の荒波を泳いで行くというこは		○	
	4			電車の車庫の様子、止まっている3台の車両の内1台(1番左の車両)が車庫から出てくる。車庫から車体が出きったところで止まる。	決して並大抵の努力ではありませんでした。 しかし、多田さんはいつも明るく朗らかな気持ちで、どんな困難の		○	
	5			電話を切り、手前に向かって何か話す父親。窓の外で電車が走	何ら屈することを知らず、さながら		○	
	6			いくつかあるうちの、ポイントレバーを切り替える男性。	勤勉そのもののような、真面目な		○	
	7			転轍機が切り替わった線路	世渡り		○	
	8			信号機の真ん中のランプが点灯している。	近所の人々からも		○	
	9			切り替わった転轍機の上を車両が走る。	同僚の連中からも、厚い信望と尊敬の念をはらわれていました。		○	
8	1			3本のくいが立つその向こうで、連れ立って歩く3人の学生。中央の学生は2人の肩に手を回している。3人は画面左まで来たところで手前に手を振る。		学生: おじさーん	○/鳥のさえずり	
	2			声に気づき、立ち上がって窓の外を見る父親。		父親: ん?	○/鳥のさえずり	
	3			窓から外を見る父親		父親: おお、今行くのかい?	○/鳥のさえずり	
	4			(学生を俯瞰する父親の視点から)手を振っている学生3人。並んだくいの向こう側にはすぐ線路が走る。画面左には電柱。		父親: だい遅いじゃあないか。	○/鳥のさえずり	
	5			窓から外を見る父親。		学生: いってくるよー 父親: ああ、学校の勉強は力いっぱいだぞ!	○/鳥のさえずり	

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞
	6		父親の言葉に顔を見合わせる学生。手を振りながら左へ歩いていく。		父親：忘れちゃいかんぞ！ 学生：またおじさんがあんなこと言っ てら。おかしいなー。行ってまいりまー	○/鳥のさえずり	
	7		窓から手を振る父親。		父親：ああ、しっかり勉強しなさいよ。	○	
	8		見送りを終え、席につき仕事を再開する父親、ほどなくして電話が掛かってくる。耳から受話器を放し、指示を出してから受話器を置くと、煙草を取り出し一服する。		父親：ふふ。はあ、可愛いやつじゃ。はいはい、はい、ああ。あ、16番の6。		
9	1		教室(?)にて、行儀良く列になって椅子に座って歌を歌う女子児童達。手前にオルガンを弾く和装の女性1人			○	□□□□に光溢れて 輝く太陽 清く正しく元気に学ぶ 光の光のほんごう(?)に
10	1		教室にて、机に向かい、数式を解く学生達。机間巡視する男性の訓導1人。黒板に板書された数式「 $346 \times 21 / 2009 \times 57 / 7412 \times 83$ 」。訓導が壇上に上がり、答えを求める。その声に応え、手を挙げる学生達。前から2列目の学生を指す教師。指された学生は立ち上がり答を言う。訓導は満足げな顔をして頷くと、黒板に何かを	1人の女の子と、2人の男の子、多田さんの命よりも大切な彼らは、また、父親に負けないほどの勉強と精勤とで、兄弟揃いも揃って相 当な成績を修めていました。		○	□□□□□□□□□□□□□□□□
11	1		(父親の職場にて)遠くを見つめる父親。部屋に入ってきて父親と話す同僚、談笑する2人。		同僚：よお、何を考えとるんじゃね？ 父親：ん？おお。ああ、ちよつと子どものことをな。 同僚：ああ、そうか。お前さんの子どもさんはしかし、頭がいいし、成績がいいから、末が楽しみじゃな。 父親：何だか知らんが、三人の子どもを教育するということは、なかなか骨が折れるよ。 同僚：いやしかし、そのくらの事は仕 ちがあるまいか		